

令和7年度 学校案内

2025
GUIDE BOOK

山梨県の農林業・農山村を支える人材を育成する

「生産から流通・販売までアグリビジネスの実際を学ぶ」

「林業の現場で活躍できる高度な知識と技術を身につける」



専門学校 山梨県立農林大学校

Yamanashi Prefectural College of Agriculture and Forestry

校 是

School policy

校 訓

School motto

● 行学一致

● 日々に新たなり

● 大地に生きる

教 育 理 念

Educational philosophy

これからの山梨県の農林業・農山村を支える人材を育成する

「生産から流通・販売までアグリビジネスを学ぶ」

「林業の現場で活躍できる高度な知識と技術を身に付ける」

近年、本県の農林業・農山村を取り巻く状況は、農林業従事者の高齢化、荒廃農地や荒廃森林の増加など、様々な課題を抱えています。この様な中、農業においては、IoTやAIなどを活用したスマート農業の振興と、農家の規模拡大や異業種参入による農業法人数の増加など新たな展開が見られます。林業においては、森林資源が充実する中、これらを有効に活用し、スマート林業を経営へ導入する取り組みが始まっています。こうした状況に的確に対応し、農林業を発展させていくためには、農林業の成長産業化を進め、農山村の活性化を促進させる必要があります。

農林大学校では、『生産者の所得の向上』（豊かさの実感）の実現に向けて、実践力と経営感覚を備えた農林業の就業者や経営者の養成を主眼に、生産技術や経営管理に関する講義と実習、先進的な経営を行う農業経営体や林業経営体などへの派遣実習を組み合わせた実践的な教育を行うことにより、生産から流通・加工・販売まで、実際のビジネスに沿った知識や技術を習得させ、これからの山梨県の農林業・農山村を支える人材の育成を図ります。

沿 革

History

昭和45年4月

農業講習所（昭和24年設立）、農民研修所（昭和35年同）、蚕業講習所（昭和29年同）、果樹研究生（昭和22年同）を統合し、農業改良助長法に基づく県内唯一の農業者研修教育施設として農業大学校を開設

昭和48年4月

本校を双葉町下今井（現甲斐市）に移転
農業機械研修所を併設

昭和59年3月

本校を北巨摩郡長坂町に移転 果樹教場、蚕業教場を設置
農業機械研修所を廃止し研修部を設置

昭和60年4月

農学部研究科課程を設置

平成16年6月

研修部に職業訓練農業科
（就業支援センターからの受託訓練）を設置

平成20年4月

学校教育法に基づく専門学校に許可され、従来の本科課程を「養成科」の果樹学科と園芸学科に再編し、研究科課程を廃止し「専攻科」の落葉果樹学科を新設

平成23年3月

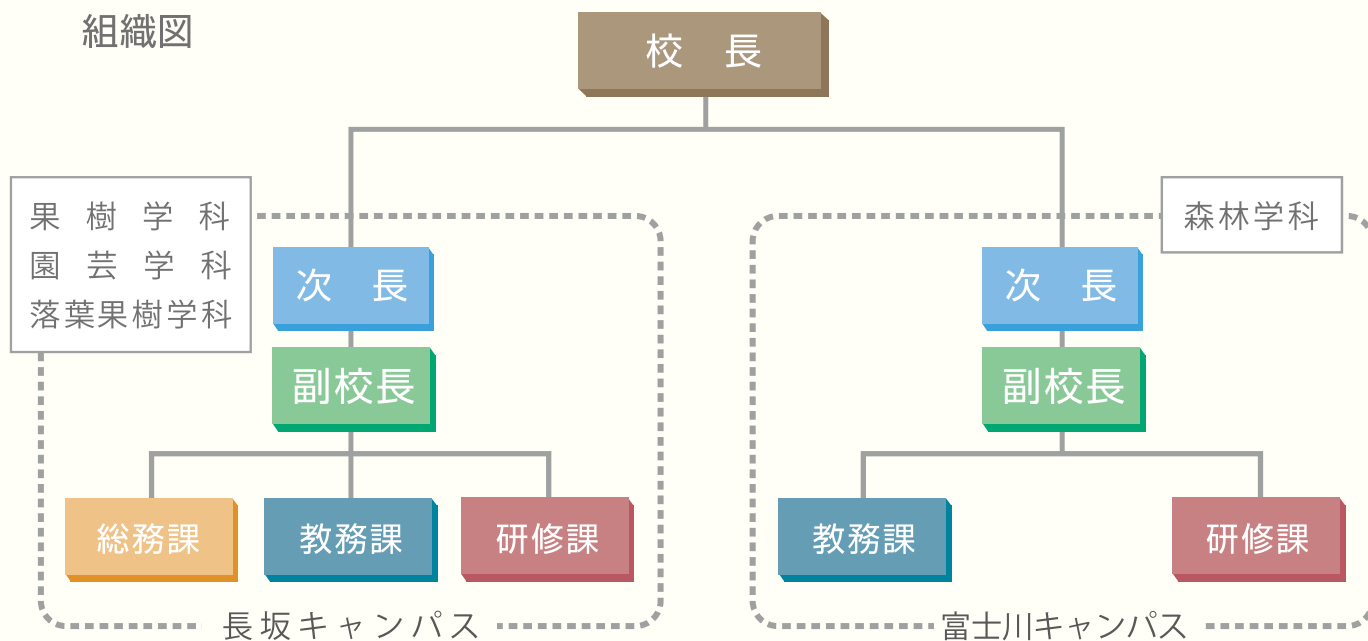
校舎（本館）改築

令和4年4月

校名を専門学校 山梨県立農林大学校に改称
養成科を再編し、果樹学科、園芸学科に加え、森林学科を新設



組織図



※令和4年度より、長坂キャンパスに加えて富士川キャンパスでの授業が始まりました。

学科の構成と定員

教務課	科	学科	専攻	1 学 年 定 員		修業年限	入学要件
	養成科	果 樹	—	30名	20名程度	2年	高等学校以上を卒業した者 (卒業見込みの者を含む)
		園 芸	野菜		10名程度		
			花き				
		森 林	—	10名			
	専攻科	落葉果樹	若干名		2年	短期大学以上で農業に関する課程を卒業した者、 本校養成科を卒業した者 (卒業見込みの者を含む)	

※詳細は令和8年度入学学生募集要項を参照

研修の対象と定員

	研修名	コース	定員	研修期間	対 象
研修課	就農トレーニング塾	園芸教室(年間5回)	20名	1日	一般県民及び山梨県居住者 (二拠点居住者含む)
		平日1日	若干名	1日	新規就農希望者、農福連携希望の 福祉施設職員・利用者等
		週末(年間10日)	16～40名程度	10日	新規就農希望者、ワーケーション・ 二拠点居住者で農業体験希望者
	農業機械研修	トラクター単体研修他	8～24名	1日～6日	農業者等
	職業訓練農業科	果樹、野菜・有機農業	各コース30名	9ヶ月	農業法人等就職希望者
	林業研修	指導者育成研修	8名	4.5日	林業経営体従業員等
		伐木技能向上研修	16名	2日	林業経営体従業員等
		林業経営体経営力向上研修	5名	3日	林業経営体経営者・従業員等
		林業架線作業主任者免許講習	13名程度	15日	林業経営体従業員等

養成科

農業経営を担う生産のプロフェッショナルを育成します

果樹学科・園芸学科 ● 修業年限2年

農業生産の基礎技術を長坂農場（約4ha）において実践的に学ぶことを第一として、経営・流通の講義、情報処理・簿記の演習を通して基礎的な経営管理技術の習得も進めます。

また、先進農家・農業法人や流通・販売の現場における研修を進めるとともに、2年間の学習の総括として、自ら農業生産上の課題を探り、これを解決するため、計画立案・実行・評価＝Plan・Do・See（課題解決）の手法による卒業論文（プロジェクト学習）に取り組みます。

これらの学習を通じて農業の経営や流通・販売を支える人材を育成していきます。

果樹学科

ブドウ、モモ、スモモを中心とした露地栽培の基礎的な栽培技術を習得すると同時に、将来を見越した省力化技術や効率的な果樹経営を理論と実践により学びます。また、宅配や直売に向けた荷姿、調整方法や枯露柿などの加工技術を習得します。



園芸学科・野菜専攻

果菜類や葉菜類、根菜類といった多品目の野菜について栽培の基礎技術を習得します。さらに、生産から販売までの一貫した実習を通し、生産工程上の問題点の抽出とその解決に取り組み、消費者ニーズに対応した野菜の生産方法を学びます。



園芸学科・花き専攻

本県の主要花きであるシクラメンなどの鉢ものの類をはじめ、ビオラなどの花壇苗を栽培し、生産技術や出荷調整方法、施設の効率的な利用方法を習得します。また、寄せ植えやアレンジメントなど、流通・販売を意識した利用技術について学びます。



カリキュラムの 特徴

- 農場、先進農家、農業法人等における実習・研修を通じた実践力の強化を目指しています。
- 各学生の将来の進路希望に応じ、栽培技術から流通・販売の分野まで、技術習得に向けたきめ細かな指導を行います。
- 学生一人ひとりが研究テーマを持ち、それぞれの課題解決に必要な学習を進めています。

履修科目・授業時間及び履修単位

1年次

分 野		科 目	時間	単位	
教 養		英語	15	1	
		体育	30	1	
		化学Ⅰ	30	2	
		生物	15	1	
		数学Ⅰ	30	1	
		社会学	15	1	
生 産 技 術	共 通	病虫害	15	1	
		土壌肥料	15	1	
		土壌肥料実験	30	1	
		生物工学実験	30	1	
		環境保全型農業	15	1	
		農業機械	15	1	
		農業機械実習	90	3	
		作物栽培	15	1	
		農産物加工	15	1	
		共通実習	360	12	
		農林連携	30	1	
	果樹学科	果樹栽培	(30)	(2)	
		専門実習	(240)	(8)	
	(野菜)園芸学科	野菜栽培	(30)	(2)	
		専門実習	(240)	(8)	
	(花き)園芸学科	花き栽培	(30)	(2)	
		専門実習	(240)	(8)	
	経 営 管 理		農業経営	15	1
			農産物流通	15	1
簿記			30	1	
情報処理論			30	1	
実 際 ビジネスの アグリ	アグリビジネス論	15	1		
	流通販売研修	60	2		
合 計			1,200	48	
特別講座			随時		

2年次

分 野		科 目	時間	単位
教 養		英語	15	1
		体育	30	1
		化学Ⅱ	30	2
		数学Ⅱ	15	1
		社会学	15	1
		文章表現	15	1
生 産 技 術	共 通	植物生理	15	1
		病虫害	15	1
		施設園芸	15	1
		農業施策	15	1
		農業法規	15	1
		国際農業と食料	15	1
		食品衛生	15	1
		農産物加工実習	30	1
	果樹学科	果樹栽培	(30)	(2)
		専門実習	(180)	(6)
	(野菜)園芸学科	野菜栽培	(30)	(2)
		専門実習	(180)	(6)
	(花き)園芸学科	花き栽培	(30)	(2)
		専門実習	(180)	(6)
経 営 管 理		農業マーケティング	15	1
		簿記	30	1
		情報処理論	30	1
		産地育成	15	1
実 際 ビジネスの アグリ		アグリビジネス論	15	1
		先進農業研修	30	1
		先進農業派遣研修	330	11
卒業研究		卒業論文	270	9
合 計			1,200	49
特別講座			随時	

※特別講座については、共通実習の中で有機農業・先端技術(スマート農業)等を学習する。※時間及び単位の()は、専攻に応じて履修する科目

1年次

「共通実習」

12
単位

共通実習では、果樹・野菜・花きの栽培実習を通して、基礎的な技術・知識を学びます。また、農業機械の操作実習により操作技術を習得します。



「農業機械実習」

3
単位

各種農業機械の構造と操作方法を習得します。また、大型特殊自動車（農耕車に限る）運転免許証や小型車両系建設機械（バックホー）運転技能特別教育修了証等を取得します。



「流通販売研修」

2
単位

流通の現場である卸売会社、量販店、JA直売所等において流通販売の実際を学ぶとともに接客マナー等販売の基本を習得します。



2年次

「農産物加工実習」

1
単位

大学校で栽培・収穫した農産物を使い、農産加工品の製造方法や販売方法を習得します。



「先進農業派遣研修」

11
単位

先進的な経営を行っている農家・農業法人等における実習を通して栽培技術、実践的な経営管理技術を習得します。また、農家生活や企業経営理念についても学びます。



■ 実施期間／5月上旬～2月上旬（35日）

「専門実習・卒業論文」

15
単位

専門実習では各専攻に分かれ、栽培品目の特性を理解し、生育状況に合わせた管理技術を習得します。卒業論文では、農林大学校での学びの集大成として実施計画に基づき、農場における実験や現地における調査を行い、調査結果を分析・評価し、論文としてまとめます。また、発表を行うことでプレゼンテーション技術の習得や向上を図ります。



■ 卒業論文（プロジェクト学習）発表会／12月中旬

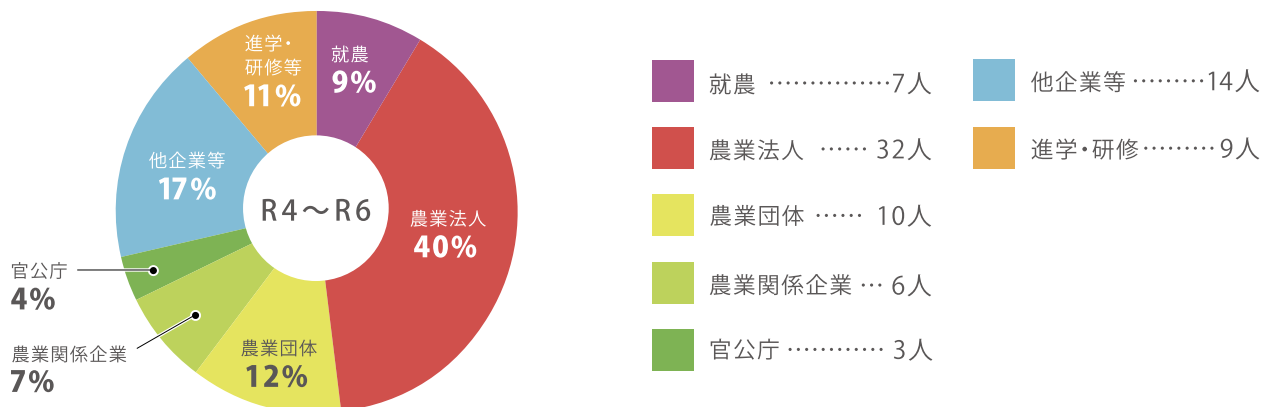
取得できる資格の例

- 大型特殊自動車運転免許（農耕車に限る） ●けん引自動車運転免許（農耕車に限る）
- 小型車両系建設機械運転特別教育修了証 ●刈払機取扱作業安全衛生教育修了証
- 危険物取扱者 ●毒物劇物取扱者 ●農業簿記検定 ●日本農業技術検定
- Excel表計算処理技能技能認定 ●フォークリフト技能講習修了証

進路状況

Future Course ● 卒業生進路状況(過去3年間R4~R6)

養成科



年度	就農	農業法人	農業団体	農業関係企業	官公庁	他業種等	進学・研修	計
R6	1	9	6	2	0	5	5	28
R5	2	10	2	2	1	7	2	26
R4	4	13	2	2	2	2	2	27
計	7	32	10	6	3	14	9	81

進路先一覧

● 就農／自営就農(7)

● 農業法人／株式会社ベジ・ワン北杜(3) 株式会社浅間園(2) 株式会社植原葡萄研究所(2) 株式会社中村農場(2) ジットファーム株式会社(2) 株式会社Maruesu(2) 営農塾マルニ 奥野田葡萄酒醸造株式会社 株式会社アグリ甲斐 株式会社サラダボウル 株式会社シャトー勝沼 株式会社日之城農場 株式会社フィールドステーション 株式会社ポタジューガーデン 株式会社前森山集団農場 株式会社ルミエール 小池ベビリーフ菜園株式会社 合同会社エバグリーン北杜 敷島醸造株式会社 シミックウェル株式会社 中込農園株式会社 中日本ファームすずなり株式会社 フジッコワイナリー株式会社 丸山産業株式会社 有限会社武川農産

● 農業団体／J A フルーツ山梨(2) J A 梨北(2) J A 笛吹(2) J A 南アルプス市 一般財団法人中央市農業振興公社 笛吹川沿岸土地改良区連合

● 農業関連企業／株式会社アセラ(2) 株式会社サンコー 社会福祉法人山の都福祉会 明友機工株式会社 有限会社前島園芸

● 官公庁／山梨県立高等学校実習助手(2) 長野県南信農業試験場

● 他業種等／株式会社平山(3) 株式会社BackCountry 株式会社いちやまマート 株式会社オギノ 株式会社ネクステージ 株式会社洋菓子舗ウェスト グランドーム富士忍野 生活協同組合ユーコープ

● 進学・研修／専門学校山梨県立農林大学校専攻科(7) 茨城県立農業大学校研究科 誠和アカデミー

養成科に学んで

令和6年度 養成科 果樹学科卒業 自営就農

齊藤 大耀さん



私の家は代々農業を営んでおり「さいとう園」という名で、いちご・ぶどう・すももの三品目を栽培しています。小さい頃から手伝いをしており、その中で農業に魅力を感じ農林高校へ進学しました。

農林高校で学んでいくうちに就農したいと考えるようになり、更に専門的な知識を得るために専門学校山梨県立農林大学校果樹学科に入学しました。養成科1年では果樹・野菜花きといった栽培の基礎を学ぶ他、トラクター等の機械を実際に運転し免許を取るなど農業機械についても学びました。収穫祭では先輩方と一緒に地域の方々に収穫物を販売するなど流通・販売について体験することが出来ました。養成科2年では、現在の農業の課題を分析し改善する「プロジェクト学習」が始まり、生徒主体での栽培を行います。私は「シャインマスカット」について研究を行い、これまで学習した知識や経験を活用して栽培をするのとても良い体験でした。仲間と一緒に農業を学びながら過ごしたこの2年間は、とても楽しい時間となりました。

卒業後は、新規就農した新たな農地でぶどうを栽培しようと考えています。これからは一人で経営を行っていくので不安はありますが、農林大学校で得た知識や経験をいかし、時には親に助言をもらいながら頑張ろうと思います。そして、山梨の農業に貢献できる農家になろうと思います。

令和6年度 養成科 園芸学科野菜専攻卒業 JAふえふき就職

大原 農永さん



私の祖母は自宅で消費する程度の規模でしたが、畑と水田を持っており、私は、幼い頃からその手伝いをしながら農業に触れてきました。その頃から心の奥底には漠然と農業への想いがありました。高校で進路を考えるようになると、その想いが日に日に強くなり、山梨県立農林大学校園芸学科野菜専攻への進学を決意しました。

2年間という短い期間でしたが、農林大学校では野菜だけでなく、果樹や花きなど、幅広い分野の知識と技術を学ぶことができました。栽培方法はもちろん、選果や袋詰め、販売までを実際に行うことで、農業の現場を肌で感じる事ができました。2年次には、実際に農業経営者のもとで先進農業派遣研修を受け、生の声やノウハウを学ぶ貴重な経験を得ることができました。農業の基礎から専門的な知識まで、多岐にわたる学びを通して、農業への理解を深めることができた2年間でした。

在学中同じ志を持つ仲間たちと出会えたことも、私にとって大きな財産になりました。個性豊かな仲間たちと切磋琢磨し、濃密な時間を過ごしたことで、農業への情熱が一層高まりました。

私は卒業後、JAふえふきに就職します。農林大学校で培った知識と経験を活かし、山梨の農業、ひいては日本の農業を盛り上げる一翼を担いたいと考えています。生産者の方々の声に耳を傾け、地域の特性を活かした農業の発展に貢献できるよう、日々精進していこうと思います。

養成科

林業の現場で即戦力となり、将来的に林業経営体の中核を担う人物を育成します。

森林学科

● 修業年限2年

森林・林業に関する知識や技術を基礎から専門的分野まで、段階的かつ体系的に学びます。

授業では、就業後に現場で即戦力として働けるように、森林調査から植栽・保育・伐採まで森林施業に必要な知識や技術の習得を図るとともに、ICTなどを活用した効率的で安全な林業について学ぶほか、林業に必要な資格の取得を計画的に進めます。

また、将来林業経営体の中核として活躍できるように、森林の地形や林況、路網や木材市況などから適切な施業方法を選択し、長期的な視点に立った森林施業プランの作成や、事業収支を踏まえた現場管理など林業経営に関する知識や技術の習得を図ります。

教育内容

カリキュラムの核となる専門教育分野は、4つの柱からなる「林業の専門知識・技術」と「実践技術・総合能力」に体系化し編成しています。

林業の専門知識・技術

① 森林づくりを進めるプランニング力

森林の状況を的確に調査し、事業収支を踏まえた森林経営計画を作成・提案できる知識や技術を学びます。



② 森林施業に必要な知識と技術力

植栽や保育、素材生産に関する知識・技術を身に付けるとともに、高性能林業機械やICTを活用した効率的な作業技術を習得します。



③ 林業経営のマネジメント力

木材流通やマーケティング、林業事業体会計などを学ぶとともに、林業経営に必要な企画力やマネジメント力を身に付けます。



④ 森林の幅広い活用

きのこなどの特用林産に関する知識を習得するほか、森林の保健休養機能を活用した森林利用などを学びます。



実践技術・総合能力

計画から伐採に至る一連の実習や林業経営体でのインターンシップ等により、林業現場で必要となる能力を身に付けます。

教育の流れ

1年次

① 体験・基礎

② 理解・反復

林業の基本的な知識とともに、現場の作業に必要な林業機械の操作技術を習得します。

2年次

③ 応用・実践

④ 総括

林業の専門的な知識とともに、実習やインターンシップを通して実践的な技術を習得します。

カリキュラムの 特徴

- 豊富な実習フィールドを活用し、植栽から伐採までの全ての工程に関する技術を習得します。
- ドローンやICTの活用など最先端の知識・技術を習得します。
- 木材流通や林業事業体会計など幅広い知識を習得します。
- 林業の実施に必要な資格を計画的に取得します。

履修科目・授業時間及び履修単位

1年次

分野	科目	時間	単位
教 養	英語	15	1
	体育	30	1
	化学Ⅰ	30	2
	生物	15	1
	数学Ⅰ	30	1
	社会学	15	1
林業一般	森林・林業概論	15	1
	林業法規	15	1
	労働安全衛生	15	1
	森林生態	15	1
森林計画	森林計画概論	15	1
	測量	30	1
	立木調査	30	1
	森林調査実習	30	1
	森林施業プラン	15	1
造 林	造林学Ⅰ	15	1
	造林実習Ⅰ	150	5
	森林保護	15	1
林業機械	林業機械概論	15	1
	林業機械実習Ⅰ	150	5
	林業機械実習Ⅱ	180	6
路網整備・ 素材生産	森林作業道	30	2
	素材生産実習Ⅰ	60	2
林業DX	情報処理論Ⅰ	30	1
	森林GISⅠ	30	1
	スマート先進事例概論	15	1
	先進林業実習	30	1
木材流通	木材流通	15	1
	木材加工・利用	15	1
	木材加工・流通実習	30	1
森林活用	特用林産	15	1
	特用林産実習	30	1
総合実習	農林連携	30	1
	総合実習	30	1
合 計		1,200	50

2年次

分野	科目	時間	単位
教 養	英語	15	1
	体育	30	1
	数学Ⅱ	15	1
	社会学	15	1
	文章表現	15	1
林業一般	森林土壌・水文	15	1
森林計画	森林施業プラン演習	60	2
	森林経営計画	15	1
林業経営	林業経営	15	1
	林業事業体会計	30	2
造 林	造林学Ⅱ	15	1
	造林実習Ⅱ	30	1
林業機械	林業架線実習	120	4
路網整備・ 素材生産	森林作業道作設実習	30	1
	素材生産実習Ⅱ	90	3
林業DX	情報処理論Ⅱ	30	1
	森林GISⅡ	30	1
	スマート林業	15	1
	スマート林業実習	30	1
木材流通	マーケティング	30	2
森林活用	森林利用	15	1
総合実習	先進農林業実習	30	1
	インターンシップ	240	8
卒業研究	卒業論文	270	9
合 計		1,200	47

1年次

「測量」

1
単位

林業に必要な測量の種類と方法、作図について学び、実習によりデジタルコンパスやGPSを用いた周囲測量などの技術を身に付けます。



「造林実習Ⅰ」

5
単位

実習林や県内各地の県有林を活用した実習により、植栽、下刈、除伐、間伐、枝打ち等の森林の保育に必要な技術を身に付けます。



「林業機械実習Ⅰ」

5
単位

刈払機やチェーンソーの操作技術、緊急時の救命方法を学ぶとともに、伐倒練習機等を使った反復練習により、安全で正確な作業技術を身に付けます。



2年次

「スマート林業実習」

1
単位

ドローンやレーザ計測機器などの操作方法、それらを活用した効率的な森林調査の方法や木材生産について学び、スマート林業の実践に必要な知識や技術を身に付けます。



「素材生産実習Ⅱ」

3
単位

ハーベスタやスイングヤーダ等の高性能林業機械を用いた素材生産の方法を学び、安全かつ効率的に使用するための知識と技術を身に付けます。



「林業架線実習」

4
単位

急峻地での木材搬出に必要となる林業架線の知識と技術を学ぶとともに、林業架線作業主任者免許の取得に必要な知識を習得します。



取得できる資格の例

- 伐木等作業従事者特別教育修了証
- 刈払機取扱作業安全衛生教育修了証
- 車両系建設機械（整地等）技能講習修了証
- 林業架線作業主任者免許
- 普通救急救命講習修了証
- 狩猟免許（わな猟）
- 簡易架線集材機械作業従事者特別教育修了証（タワーヤーダ等）
- 走行集材機械作業従事者特別教育修了証（フォワーダ等）
- 伐木等機械作業従事者特別教育修了証（プロセッサ、ハーベスタ等）

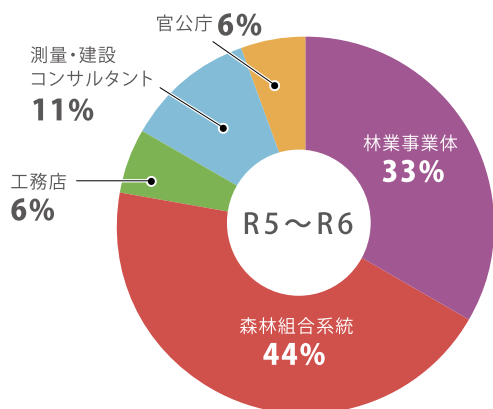
※ 林業架線作業主任者免許については、森林学科を卒業後、2年間の実務経験を経て労働局に申請することにより取得が可能。

進路について

Future Course ● 卒業生進路状況 (R5・R6)

養成科

Promotion



林業事業体	6人	測量・建設コンサルタント	2人
森林組合系統	8人	官公庁	1人
工務店	1人		

年度	林業事業体	森林組合系統	工務店	測量・建設コンサルタント	官公庁	計
R5	2	6	0	0	1	9
R6	4	2	1	2	0	9
森林学科計	6	8	1	2	1	18

進路先一覧

- **林業事業体**／株式会社大望(2) 有限会社原林業 有限会社藤原林業 株式会社小林林業土木 有限会社依田林業
- **森林組合系統**／山梨県森林組合連合会 中央森林組合(3) 峡南森林組合 南部町森林組合(2) 北都留森林組合
- **工務店**／素朴屋株式会社
- **測量・建設コンサルタント**／一般財団法人山梨県森林総合コンサルタント(2) ● **官公庁**／山梨県林政部

林業の仕事内容

▶ 林業とひとことでも言っても様々な仕事内容があります。その一例を紹介します。



伐木

人工林の育成を目的に行う、形質の悪い木などの除伐や立木を適切な間隔に誘導する間伐のほか、収穫期を迎えた人工林の皆伐など、立木を伐採する作業を行います。



造林

皆伐跡地の枝条を整理する地拵えや苗木の植付け、成長を阻害する草木の下刈、病虫害の防除作業など、健全な森林を育成するための保育作業を行います。



林業機械の操作

効率的な木材生産を進める林業の現場では、伐採や造材を行うハーベスタなどの高性能林業機械が導入されており、オペレーターとなって素材生産や丸太の運搬などを行います。



森林施業プランの提案

小規模で分散している森林を効率的に整備するため、森林所有者へ伐採や植栽などの森林施業プランの提案を行うとともに、施業を受託することにより、地域の森林の管理を担う仕事をします。

養成科に学んで

令和6年度 養成科
森林学科卒業

株式会社 小林林業土木就職

渡邊 将永さん



私は高校1年生の時に、ウッジョブという映画を見て林業に興味を持ちました。運動が好きなこと、山梨県でよくキャンプをしていたことから、将来は山梨県で林業の職に就きたいと考えていました。そこで、専門的な知識と技術が学べる山梨県立農林大学校の森林学科に進学することを決めました。

学校生活の2年間の内、1年目は現場作業に必要な資格の取得と、チェーンソー、刈り払い機、重機の操作や、測量など、林業の基本的な知識と技術を学びました。授業は実習が多く楽しい学校生活を送ることができました。2年目はインターンシップがあり、今まで磨いてきた技術を実践するとともに、実際の現場作業について学びました。自分が希望した県内の林業事業体で、チェーンソーを使った伐採作業や重機の操作、道路の草刈り、測量といった様々な仕事を、実際に体験することができました。

現場では、自分は今どんな作業をしなければならないか、どうすれば効率がいいかなどを常に考えていたのでとても大変でしたが、実践的な技術や現場での立ち回り方などを学ぶ上で良い経験となりました。

卒業後は、インターンシップでお世話になった株式会社小林林業土木で、森林整備の仕事に就きます。森林学科で学んだことが、存分に発揮できるように頑張りたいと思います。

令和6年度 養成科
森林学科卒業

北都留森林組合就職

有賀 伊吹さん



私は山梨県内の農業系高校で林業のことを学んでいました。授業や実習で測量、刈り払いや木材加工などについて学ぶにつれ、将来林業従事者になり山梨の山で仕事をしたいと思うようになりました。そこで、高校よりも専門的な知識や技術が学べる専門学校山梨県立農林大学校森林学科に進学することを決意しました。

1年生の実習ではチェーンソーや刈り払い機、重機などの資格取得や基礎的な操作練習を重ね、座学では林業に関係した法律や労働安全のほか森林のはたらきや生態系の仕組みなど基本的な知識を学びました。2年生の実習では、インターンシップで県内の林業事業体や森林組合に行き、実際の現場で仕事を行いました。ベテランの方の高度な技術を目の当たりにして林業の難しさを実感するとともに、現場で作業することの充実感、林業の楽しさを学ぶことができました。

また、森林・林業・環境機械展示実演会を視察するため同級生の皆と福井県を訪れたことは、学校生活の中で楽しい思い出の一つとなりました。

卒業後は、上野原市にある北都留森林組合へ就職します。森林学科で身につけた技術や知識を生かし、伐採や重機作業はもちろんのこと、森林施業プランの作成や測量など様々な仕事に携わり活躍したいと思っています。

専攻科 果樹経営のスペシャリストを育成します

落葉果樹学科 ● 修業年限2年

本県を代表するブドウ、モモを中心とした落葉果樹の高度な栽培技術の習得を山梨県果樹試験場において実践的に進めます。経営管理・マーケティング・販売促進についての基礎理論を講義・演習により学ぶとともに、農業法人等における実際的な生産技術・経営管理技術の研修も進めます。

2年次には、学習の成果として将来に向けた自らのアグリビジネスプランを作成します。

これらの学習を通じて新たなアグリビジネスの展開を目指す経営や農業法人の生産・流通の一翼を担える人材として必要な専門知識や経営手法を学びます。

履修科目・授業時間及び履修単位

分野	科目	時間		単位
		1年	2年	
教養	数学	30		1
	社会学		15	1
生産技術	農業施策	15		1
	農業法規	15	15	2
	果樹栽培概論	45		3
	果樹栽培各論Ⅰ		45	3
	果樹栽培各論Ⅱ		45	3
	果樹栽培各論Ⅲ		45	3
	醸造用ブドウ栽培論	30	30	2
	新品種特性	15		1
	地域先進技術	30	60	3
	植物栄養生理	30		2
	植物増殖	30	30	2
	植物生長調節	30		1
	土壌肥料	30	30	2
	病害虫防除	30	30	2
	環境保全型農業	15	15	2
	先端技術実習	390	330	24
経営管理	農産物流通販売	30		2
	マーケティング	60		2
	販売促進		60	2
	農業経営分析		30	1
	法人経営論	30		2
アグリ ビジネスの 実際	アグリビジネス論Ⅰ	45		3
	アグリビジネス論Ⅱ		60	2
	農業法人派遣研修	270		9
	異業種派遣研修		180	6
卒業研究	起業理念	30		1
	ビジネスプラン		180	6
合 計		1,200	1,200	94

授業紹介 Lesson introduction

1年次

「先端技術実習」

13
単位

山梨県果樹試験場での実習を通して、新技術や先進的な栽培管理技術、植物生長調整剤の活用、土壌・水分・施肥・病害虫対策などを習得します。



2年次

「ビジネスプラン」

6
単位

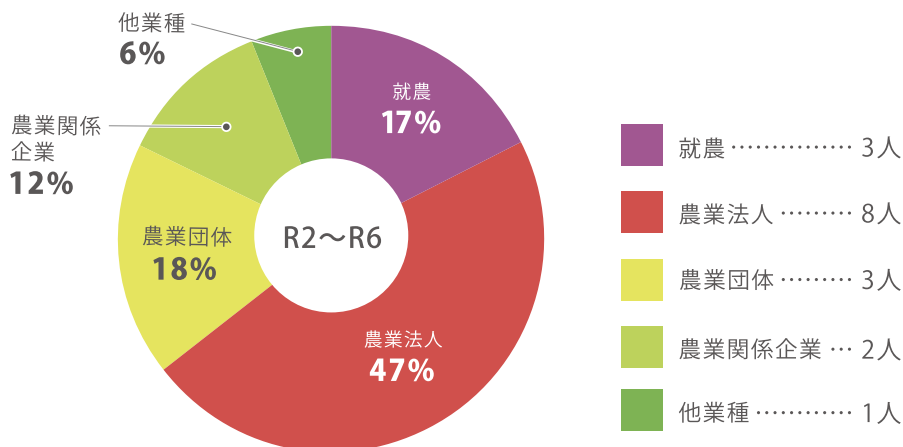
起業理念に基づき、生産から流通、販売までを一体的にとらえたアグリビジネスプランを作成します。先端技術実習、農業法人派遣研修及び異業種派遣研修の総括として、農業法人等をモデルとして経営上の課題を抽出し、これを改善するためのビジネスプランを作成します。



進路状況

Future Course

● 卒業生進路状況 (過去5年間R2～R6)



年度	就農	農業法人	農業団体	農業関係企業	他業種	計
R6		1		1		2
R5	1	1		1	1	4
R4	1	3	1			5
R3	1	2				3
R2		1	2			3
専攻科計	3	8	3	2	1	17

進路先一覧

● 就農 / 自営就農 (3)

● 農業法人 / 株式会社齋庵 株式会社 k i s v i n サントリー株式会社
サントリーワインインターナショナル株式会社 志村葡萄研究所 ドリームファーム
丸藤葡萄酒工業株式会社 マンズワイン株式会社

● 農業団体 / JA全農やまなし JAフルーツ山梨 JA梨北

● 農業関連企業 / 株式会社アセラ 三好アグリテック株式会社

● 他業種 / 山梨県警察



専攻科に学んで

令和5年度 専攻科
落葉果樹学科卒業
就農

山下 龍樹さん



専攻科では、農大や山梨県果樹試験場でブドウやモモなどの専門的な栽培知識や技術を学びました。また、マーケティングやビジネスプランの作成にも取り組み、農業経営についても学びました。さらに、様々な授業で、農産物の生産から加工、流通、販売までの一連の流れを理解しました。私は、農業にやりがいを感じています。学校での実習や研修で、農産物を収穫するまでには様々な苦労があることを知りました。しかし、作物に真剣に向き合い、苦労を乗り越えて収穫した時の喜びや、消費者の笑顔を見ることで、農業の魅力を感じました。

卒業後は、ブドウ農家になります。そのためには、非農家である私は、地域の方や指導機関のご指導とご協力を得ながら、農地の確保、経営や栽培について準備を進めたいと考えています。

また、これまで学校生活の中でお世話になった研修受入農家や果樹試験場の皆様から、学んだことを活かして美味しいブドウづくりを行いたいと思います。

私は学校の収穫祭で丹精込めて作った果物を家族が美味しいと言って食べてくれた時は、とても嬉しかったです。食糧を生産できなければ、私たちが生きていけないと思います。農業は生命を支える職業であり、人類にとって一番大事な産業だと考えています。私が農業に従事することで、家族、さらには生まれ育った地域の生命を支えたいと思います。

令和4年度 専攻科
落葉果樹学科卒業
全国農業協同組合連合会
山梨県本部 就職

三井 陶冶さん



専攻科では、養成科の時に学んだ栽培技術を生かしながら果樹試験場では先端技術実習や農業法人等での派遣研修でさらなる農業技術の習得を目指し、養成科ではあまり勉強しなかったマーケティングやビジネスプランなどの農業経営に関する講義も専門の講師から受けることができ、農業分野について深く学ぶことができました。

特に、ビジネスプランの授業の一環で農産物加工を手掛ける模擬会社を設立しており、学生のみで仕入れから商品の計画、会社の運営、加工、販売までの流れを実際に行い学ぶことができます。今年からはブランド化を目標に会社の運営を行っており、SDGsやフードロス問題についても取り組み始めました。

このように専攻科では、自分たちで計画を立て、それを実行し改善点を見つけ次につなげるような授業が多くなるため、自分で考えて行動する力をつけることができました。

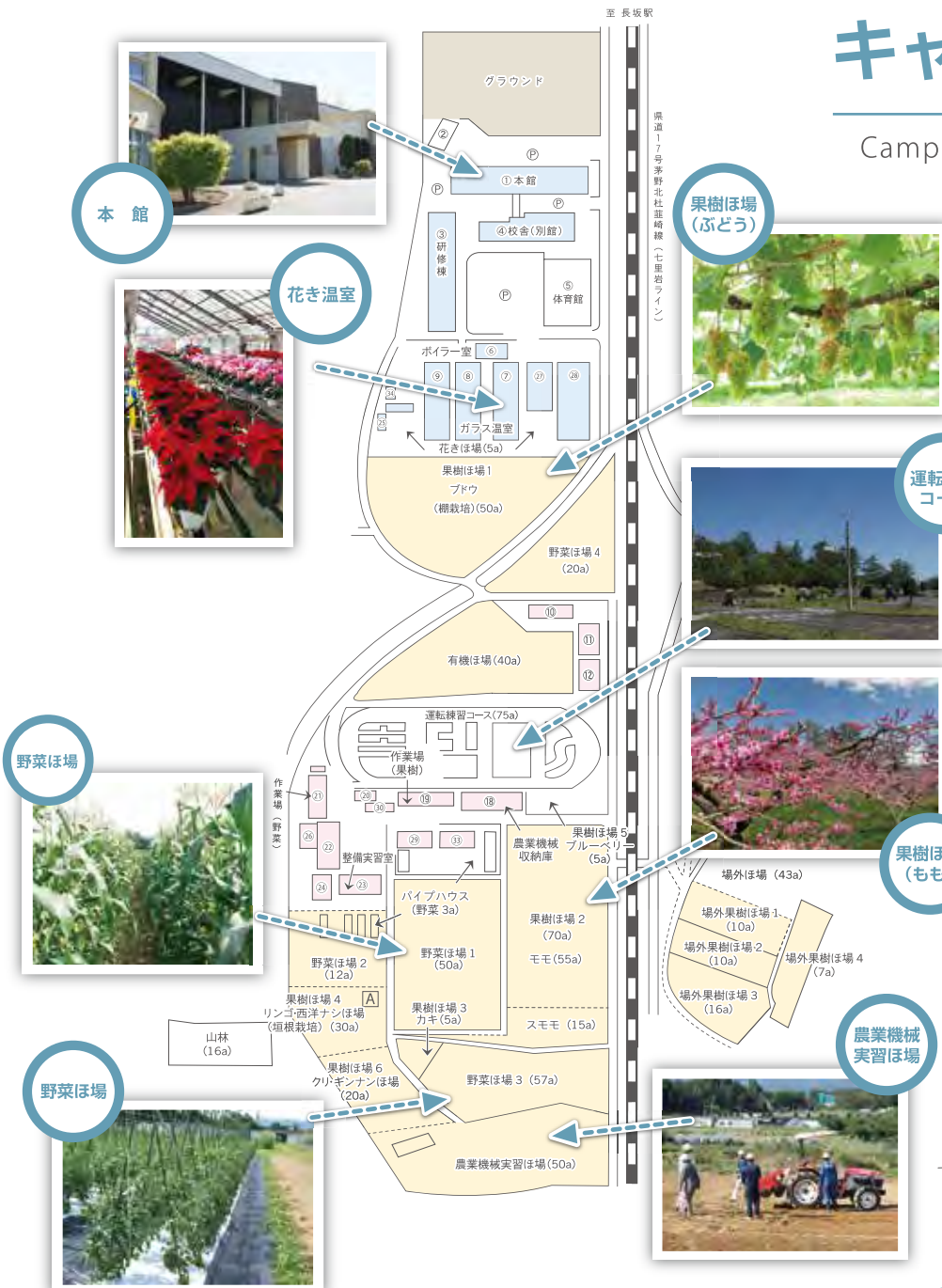
卒業後は、全国農業協同組合連合会山梨県本部に就職する予定です。今後は指導を受ける立場ではなく、指導する立場になるため不安はありますが、山梨県の農業を更に盛り上げ、より良いものにしていくように農林大学校で学んだことを生かしながら努力していきたいと思っています。

キャンパスマップ

Campus Map

長坂 キャンパス

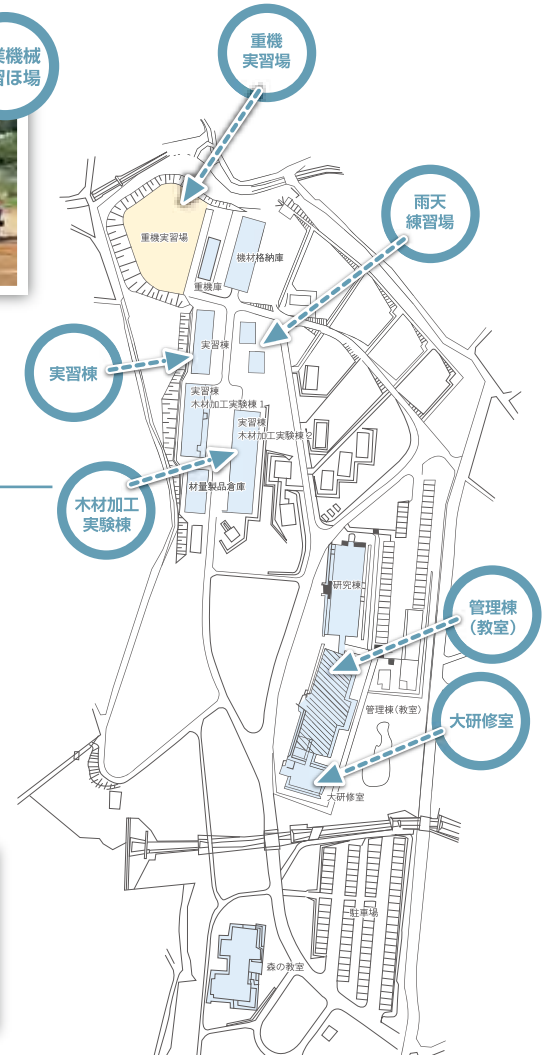
Nagasaki Main Campus



富士川キャンパス

Fujikawa Campus

キャンパスに隣接する約86haの実習林のほか、県有林をはじめとした県内各地の多様な森林が実習フィールドとなります。



入学試験日程（令和8年度入学）

■ 養成科・専攻科	推薦入学試験	2025年10月 9日 ^木
■ 養成科・専攻科	一般前期入学試験	2025年12月 3日 ^水
■ 養成科・専攻科	一般後期入学試験	2026年 1月29日 ^木

願書受付期間

■ 養成科・専攻科	推薦入学試験	2025年 9月11日(木)～24日(水)
■ 養成科・専攻科	一般前期入学試験	2025年11月 5日(水)～18日(火)
■ 養成科・専攻科	一般後期入学試験	2026年 1月 6日(火)～19日(月)

学校説明会日程（計画）

第1回学校説明会	2025年 6月14日(土)	10:00～12:00	学校説明会・見学会
第2回学校説明会	2025年 7月12日(土)	10:00～12:00	学校説明会・見学会
第3回学校説明会	2025年 7月26日(土)	10:00～12:00	学校説明会・体験実習
第4回学校説明会	2025年 8月 9日(土)	10:00～12:00	学校説明会・体験実習
第5回学校説明会	2025年 8月30日(土)	10:00～12:00	学校説明会・体験実習
第6回学校説明会	2025年11月 1日(土)	10:00～12:00	進路相談会・見学会

※詳細はHPに掲載予定

授業料等の経費

- 授業料 養成科（果樹学科・園芸学科・森林学科）・専攻科 **年額 118,800円**
（前期・後期で分割納入）
- 諸経費（教科書代他、実習・研修等に要する諸経費、学生会費及び後援会費）
養成科（果樹学科・園芸学科・森林学科）：1年次 **250,000円**
専攻科：1年次 **100,000円**
- 入学料 養成科・専攻科 **5,650円**

※なお、入学時及び在学中に授業料等経費が改定された場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。
条件により減免措置もあります。

その他 教育の特徴 実践的カリキュラムとその利点

カリキュラムの特徴

- 農場、教場、先進農家、農業法人、林業経営体、演習林等における実習・研修をととした実践力の強化を目指しています。
- 各学生の将来の進路希望に応じ、栽培技術から流通・販売、林業経営の分野まで、技術習得に向けたきめ細かな指導を行います。
- 学生一人ひとりが研究テーマを持ち、それぞれの課題解決に必要な学習を進めています。
- 果樹学科・園芸学科は、農業次世代人材投資事業の給付対象となり、森林学科は緑の青年就業準備給付の対象となります。

専門学校の特長

- 卒業時に果樹学科・園芸学科・森林学科は「専門士」の称号が授与されます。
- 4年制大学（農業系・林業系）への編入試験の受験が可能です。
- 日本学生支援機構の奨学金給付・貸与対象学科に認定されており、奨学金の利用が可能です。
- 高等教育の修学支援制度の認定校となっており、授業料等の減免が受けられます。
- 農業・林業関連企業・経営体等の求人情報を幅広く収集し、学生の希望に応じた進路指導をしています。

Event Campus life

年間行事・キャンパスライフ



入学式



専門実習



専門実習



専門実習

Days 365.

4

Apr.

- 入学式・オリエンテーション
- 学生総会
- 先進農業派遣研修～2月上旬
- 農林連携

5

May.

- 農林連携
- 春季球技大会

6

Jun.

- 学校説明会(第1回)

7

Jul.

- 学校説明会(第2・3回)
- 販売実習～9月下旬
- 就職セミナー
- 農林連携
- 農業基礎技能競技会

8

Aug.

- 学校説明会(第4・5回)
- 夏季休業



農林連携



春季球技大会



農林連携



刈払機講習



春季球技大会



販売実習



就職セミナー



流通販売研修



収穫祭



農林連携



専門実習



農林連携



プロジェクト学習発表会

9

Sep.

- 流通販売研修
- 秋季球技大会
- 農林連携
- 先進林業実習
- 先進農業研修

10

Oct.

- 推薦入学試験
- 農業基礎技能競技会

11

Nov.

- 農林連携
- 収穫祭
- 学校説明会 (第6回)

12

Dec.

- 前期入学試験
- プロジェクト学習 (卒業論文)発表会
- 素材生産実習
- 冬季休業
- 農林連携

1

Jan.

- 関東ブロック 農業大学校等実績発表会
- 後期入学試験
- 農林連携

2

Feb.

- 全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会
- 専攻科卒業研究 (ビジネスプラン)発表会

3

Mar.

- 卒業式
- 春季休業



秋季球技大会



農業基礎技能競技会



農産物加工実習



トラクター実習



バックホー実習



卒業式

研修

就農(就業)希望者・農業従事者、林業従事者を支援します!

今すぐに農業を始めたい方や就農に向けて農業を学びたいと考えている方、農業を体験したい方まで、幅広く講義と実習を通して農業の技術や知識の習得を支援します。また、農業従事者を対象に、農業機械操作・整備研修を行っているほか、林業従事者を対象に林業経営や現場管理等に関する研修を行います。

- **就農トレーニング塾** ■ 対象:新規就農希望者 農福連携希望の福祉施設職員とその利用者等
ワーケーション・二拠点居住者で農業体験希望者
- **園芸教室** ■ 対象:一般県民及び山梨県居住者(二拠点居住含む)
- **農業機械研修** ■ 対象:一般農業者等
- **職業訓練農業科** ■ 対象:農業法人等への就職希望者
- **林業研修** ■ 対象:林業経営体経営者・従業員

就農トレーニング塾

近い将来、山梨県内で農業を始めたい方を対象に、農業への適性判断や、就農の心構えを養うために栽培管理の実習などを行います。

○平日コース

○週末コース(年間10日)

週末の土・日を利用して1年間に10回実施

ももコース ぶどうコース 野菜コース 有機農業コース



園芸教室

農業への理解と関心を深めるために一般県民の皆さんを対象に農業に関する体験研修を行います。

今年の予定

5月	野菜栽培の基礎	一般向け	20名
7月	夏野菜と秋野菜の栽培管理	一般向け	20名
8月	クイズで学ぶ果樹と収穫体験	夏休みの子供向け	親子10組
8月	夏野菜と秋野菜の収穫体験	夏休みの子供向け	親子10組
12月	落葉果樹の整枝剪定	一般向け	20名



農業機械研修

山梨県内の農業者や農業従事者、農業法人職員等を対象に道路交通法に基づく運転技能講習、労働安全衛生法に基づく農業機械の安全運転講習等を行っています。

トラクター単体 けん引(農耕車限定)

小型バックホー

農業機械安全利用・整備基礎研修

トラクター作業機基礎研修



職業訓練農業科

農業法人・農業関連企業への就業に求められる栽培技術の基礎や作業の流れを農林大学校での実習や先進農家派遣実習を通じて習得します。また、農業経営に必要な簿記、安全な農業機械の操作、鳥獣害対策等にも理解を深めます。

9か月（4月～翌年1月） 1,050時間

定員 果樹コース30名

野菜・有機農業コース 30名



林業研修

林業経営体の経営者や従業員等を対象として、指導者育成研修や伐木技能向上研修、林業架線作業主任者免許講習、林業経営体経営力向上研修を行います。



林業架線作業主任者免許講習

研修を受講して

令和6年度 職業訓練農業科
果樹コース修了



柳場 和彦さん

「農業を生業にしたい」という夢を実現するために転職を考えていた2023年秋、地元で農業を営む友人が本職業訓練の修了生であると知り、彼を訪ね話を聞いたのち受講を決意しました。

本コースの訓練カリキュラムは大きく2種類。座学で理論を学ぶ「学科」と、実地で栽培技術を学ぶ「実技」でした。「学科」では、栽培理論に加え農業に関する法制度や経営マネジメントも学べ、農業を多角的に理解する力がつきました。「実技」では、学内での栽培実習に加え、現役農家での農家実習、バックホー等農業機械の実技訓練もあり、実践的スキルの習得ができました。これら2つのカリキュラムが並行して進められることで、学びが相互補完され、スムーズな習得につながりました。

学科の一つである「植物生理学」では、植物の合理的な生命活動や繁殖メカニズムなどについて、写真・図表を用いながら興味深く学べました。不思議なことに授業後は、道ばたの雑草や街路樹の生命力がより鮮やかに感じられ、植物愛と就農意欲が相互に高まったことを覚えています。

私にとって、本職業訓練の成果は、受講前の漠然とした農業イメージが判然となり、「心技体」が鍛え上げられ、農業で生きていく未来像とその道すがら明らかになったことです。

将来的には山梨県内で農業法人等に就職し、太陽と土の間で、残りの人生を農業に明け暮れたいと思っています。

令和6年度 職業訓練農業科
野菜・有機農業コース修了



古屋 みちるさん

マルサマルシェ合同会社 就職

農林大学校の職業訓練農業科では、9ヶ月間の間に、栽培に関する知識・技術だけでなく、マーケティングや簿記など将来的に就農する事を見据えた事も学べて、とても濃い9ヶ月間でした。

また、一生の仲間とも呼べる存在になった仲間達にも出会う事が出来、貴重な訓練生活でした。

農家派遣実習では、以前から興味のあった農家さんで作業をさせて頂き、農大では出来ない体験も出来ました。

就業準備の時間では、先生が様々な農家さんなどへ案内して下さい、実際に作業を見学させて頂いたり、お話を伺ったりして大変勉強になりました。

その中の一社マルサマルシェさんに、訓練修了後、就職させて頂く事になりました。仕事の内容としては、農泊をされるお客様に農業体験をして頂く野菜を栽培する仕事です。また、前職のアロマの知識を活かすようにして下さい、アロマのワークショップも取り入れて下さるそうです。今からとてもワクワクしています。

訓練前はデスクワークしかした事がなかった私でも、訓練を終え、農業関係の就職に就ける事になりました。丁寧にご指導下さった先生方には本当に感謝しかありません。ありがとうございました。

各種研修の応募について

○就農トレーニング塾 ○園芸教室

専門学校山梨県立農林大学校ホームページのメニュー（各種研修）により募集内容をお知らせしますので、募集要項に基づき申し込んでください。

○職業訓練農業科

○住居地を管轄する公共職業安定所（ハローワーク）に求職登録をして職業相談を受けてください。

○職業相談を受けた後、ハローワーク窓口に応募書類を提出します。

※応募にあたっては、事前に就業支援センターや農林大学校へ訪問していただき、相談していただくことをお勧めします。

○応募書類は山梨県内のハローワーク、就業支援センター、農林大学校のホームページで入手できます。

○農業機械研修

各研修の約2ヶ月前から募集を開始します。最寄りの関係各機関（JA・県農務事務所）又は農林大学校ホームページのメニュー（各種研修）で実施要領、申込書を入手して申し込んでください。

○林業研修

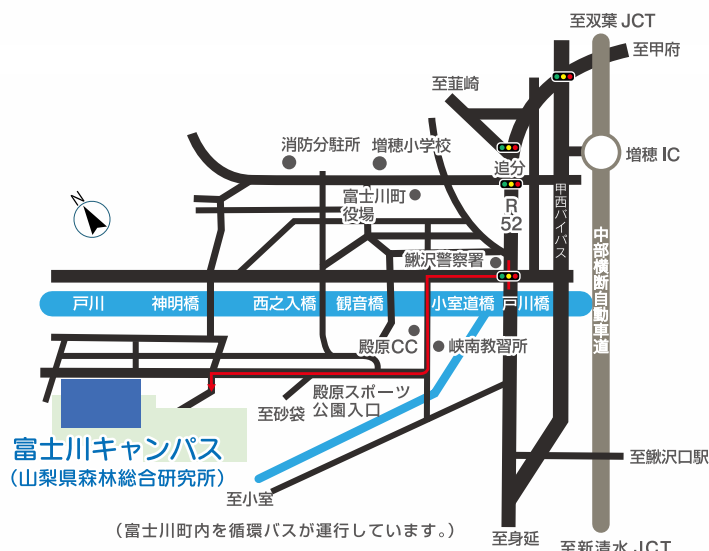
各研修の約1ヶ月前までに募集を開始します。森林学科からの通知、又は農林大学校ホームページのメニュー（各種研修）で実施要領、申込書を入手して申し込んでください。



長坂キャンパス



富士川キャンパス



専門学校 山梨県立農林大学校

Yamanashi Prefectural College of Agriculture and Forestry

長坂キャンパス 〒408-0021 山梨県北杜市長坂町長坂上条 3251
TEL : 0551-32-2269 FAX : 0551-32-2034

富士川キャンパス 〒400-0502 山梨県南巨摩郡富士川町最勝寺 2290-1
TEL : 0556-42-7080 FAX : 0556-22-8002

野菜花き教場 (山梨県総合農業技術センター)

〒400-0105 山梨県甲斐市下今井 1100
TEL : 0551-28-2496

果樹教場 (山梨県果樹試験場)

〒405-0043 山梨県山梨市江曾原 1204
TEL : 0553-22-1921

